

## 高崎芸術劇場 大劇場 概要 & 利用の手引き (舞台技術)

### 【大劇場内 確認事項について】

#### 1. 舞台仕様 (※プロセニウム舞台 (基本)、音響反射板仕様 図面参照)

- (1) プロセニウム舞台仕様 間口 28m~18m 奥行 21m 高さ 14m~11m
- (2) 音響反射板仕様 間口 23m 奥行 14m 高さ 14m

#### 2. 残響時間

舞台仕様	空席時 (測定値)	満席時 (推定値)
プロセニウム舞台	1.7 秒	1.6 秒
音響反射板	2.2 秒	2.0 秒

#### 3. 舞台床

- (1) ヒノキ集成材フローリング t=30mm (※前迫り同仕上げ)
- (2) 耐荷重 500kg/m<sup>2</sup> これを超える重量物を持ち込まれる場合は、必ず劇場技術者までご相談ください。  
また、重量物と床面の間には養生を行ってください。
- (3) 舞台床 (前迫りを含む 框を除く) への置物固定には、2 寸以下の釘を使用してください。備品に対しても同様です。  
また、ビス打ちを希望される場合は事前に劇場技術者までご相談ください。ビス打ち箇所は必要最小限とし、ビスを打ち込み過ぎないようにご注意ください。65mm 以下のビスまで使用可能です。
- (4) 舞台床材保護のため、弱粘性テープ (ビニールテープ・弱粘性養生テープ等) を使用してください。  
強粘性テープ (ガムテープや両面テープ等)、P カットテープは使用不可です。
- (5) 釘やビスを舞台上に放置することは厳禁です。 万が一、釘やビスが途中で折れ、床に残ってしまった場合は必ず除去してください。

#### 4. 舞台機構設備

- (1) 吊物機構 (※断面略図参照)
  - a プロセニウムティザー
  - b プロセニウムウイング
  - c オペラカーテン (昇降・開閉・絞り) (可変速)
  - d 吊物ボタン (可変速) 42 本
  - e ホリゾン幕ボタン (一定速)
  - f 照明ボタン (一定速) プロセニウムライトトラス  
ボーダーライト 3 本  
サスペンションライト 5 本  
アッパーホリゾンライト
  - g 東西幕ボタン (一定速)
  - h スピーカ昇降装置

※可変速度・動作時間等については事前の打合せなどで、ご相談ください。

※吊物機構の空荷での最大吊り込み重量は下記の通り

- ボーダーライト 750kg まで
- サスペンションライト 500kg まで
- プロセニウムライトトラス 550kg まで
- アッパーホリゾンライト 600kg まで
- 美術ボタン 900kg まで (※注意※ 1 ボタンのみ 700kg まで)

#### (2) 音響反射板 (※断面略図参照)

- a 天井・側面（上手/下手）・正面の各反射板で構成されています。
- b オペラカーテンは使用できません。
- c 看板・スクリーン等をご利用の場合は正面反射板ボタンを使用してください。
- d 正面反射板を設置しない場合のみ、サスペンションライト 4 以降の吊物が使用できます。

(3) 客席可動壁（※プロセニウム舞台仕様（基本）参照）

舞台の仕様・演出に合わせて 3 つの設置位置があります。

- a 音響反射板位置
- b 花道位置
- c プロセニウム位置

(4) 床機構【前迫り】（※平面・断面略図 参照）

客席仕様が基本ですが、客席を撤去することによりオーケストラピットや前舞台として使用できます。  
また、前舞台の客席を一部撤去し、撮影エリアなどでも使用可能です。

仕様	撤去する客席	備考
オーケストラピット 前舞台	1 列目～ 6 列目 193 席	客席最前列は 7 列目 6 列目 41 席は舞台袖に仮置き

(5) 花道（※設営・撤去作業時 図面参照）

客席の一部を撤去することで、花道を設営することができます。

仕様	撤去する客席	備考
花道（1 間幅）	3 列目～12 列目 60 席 （3 席×10 列×上手/下手）	60 席は舞台袖に仮置き

(6) 所要時間

a 次の設営・撤去作業は、劇場スタッフが施設利用時間内に行います。

設備	作業時間	備考
音響反射板	60 分	
仮設ボタン	30 分	音響反射板仕様時のみ使用可
客席可動壁	30 分	音響反射板仕様時はその作業時間に含む
オーケストラピット・前舞台	60 分	
花道（上手/下手）	各 30 分	
花道（下手のみ）	50 分	鳥屋口含む

b 作業中は舞台・客席への立ち入りが限られます。（※図面参照）

c 作業時間は設営・撤去それぞれに必要な時間となります。

5. スノコ・H 鋼の梁への仮設吊り

- (1) 前記の機構以外にスノコに吊ることも可能です。その場合、別紙【スノコ平面図】の仮設可能エリア内に設営となります。
- (2) 原則として同上エリア内の黒色 C 鋼（1 本当たり耐荷重 300kg）を 2 本跨ぎ（耐荷重 600kg）で仮設ください。  
C 鋼を 2 本跨ぎで使用する金具は劇場に用意されています。
- (3) 仮設する機器の総荷重が 600kg を超える場合は H 鋼の梁に 2 点吊り以上で吊り下げてください。（場所は応相談）
- (4) 吊り込みに使用するスリング・チェーン・クランプ等は持ち込みください。吊り込んだスリングなどが他の設備と干渉しないよう、  
ご注意ください。
- (5) スピーカの仮設吊りを希望される場合は、必ず劇場技術者までご相談ください。
- (6) 上記の仮設吊り作業は玉掛技能講習修了者が作業を行ってください。

6. 照明設備（※負荷設備・回路図等は HP 図面を参照）

(1) 入力電源

調光主幹盤	三相 4 線 105/182V 50Hz 600kVA 1 面
直電源盤	三相 4 線 105/182V 50Hz 300kVA 1 面
直電源盤	単相 3 線 105/210V 50Hz 200kVA 1 面

(2) 調光操作卓（調光室 1 階席後方上手）

丸茂電機 PRETYNA-M 据置型

プリセットフェーダ	120 本×3 段
サブマスターフェーダ	30 本×99 ページ
コントロールチャンネル数	1024ch
パッチ場面数	2 場面+持込卓用 1 場面
制御信号	Art-Net による DMX 制御

(3) 持込電源盤 2 面 舞台袖（上手/下手）

三相 4 線	105/182V 50Hz 120kVA Cam-Lok (E1016)
単相 3 線	105/210V 50Hz 60kVA Cam-Lok (E1016)
三相 3 線	200V 50Hz 40kVA Cam-Lok (E1016)
平行 15A コンセント	2 回路
Ethernet	1 系統
DMX	IN 2 系統

(4) ピンスポットライト

3kW×4 台

(5) 客席照明

26 系統に分かれています。持込卓によるパッチをご希望の場合は劇場技術者にご相談ください。

7. 音響設備（※回路図等は HP 参照）

(1) 音響調整卓

YAMAHA CSD-R7

(2) 入出力ボックス

YAMAHA Rio3224-D2

(3) システムネットワーク

Dante ネットワーク

(4) パワーアンプ

d&b D80, D20

(5) スピーカシステム（※「HP 音響平面図・断面図」参照）

プロセニアムスピーカ（センター）	d&b	V8
	d&b	V12
	d&b	V-SUB
プロセニアムスピーカ（L/R サイド）	d&b	V10P
サイドスピーカ（L/R）	d&b	V8
	d&b	V12
	d&b	V-SUB
サブウーハ（L/R）	d&b	J-SUB（移動型）
インフィルスピーカ（L/R）	d&b	V10P（移動型）
固定モニタースピーカ（L/R）	d&b	E12

反射板モニタースピーカ (L/R)	d&b	8S
ステージフロントスピーカ	d&b	8S
ウォールスピーカ	d&b	8S
シーリングスピーカ 中央	d&b	E12
	d&b	Bi6-SUB
シーリングスピーカ 後方 (L/C/R)	d&b	E12

- (6) 電動 3 点吊りマイク装置  
HYFAX 3PMHL-30 1 式 (最大吊り荷重 20kg) 1 式

- (7) ホール回線 ( ※「HP 音響回線 電源配置図」参照 )

アナログ 回線	CANARE 16ch マルチ回線	各所	デジタル 回線	Dante ネットワーク	各所
	Cannon XLR 回線	各所		光ネットワーク	各所
	音響アース	各所		BNC	各所
				インターカム	各所

※大劇場・スタジオシアター・音楽ホール・リハーサルホールの各ホール間は、各回線で結ばれています。

- (8) 音響電源盤 ( ※「HP 音響回線 電源配置図」参照 )

舞台袖 (上手/下手)	CEE Form 100V 30A	各 6 回路
	単相 3 線 105/210V 30kVA Cam-Lok	
舞台床 (上手/下手)	C 型 100V 30A	各 2 回路
舞台奥コネクタ盤 (上手/下手)	CEE Form 100V 30A	各 2 回路
	平行 15A	各 2 回路
	D 型 200V 20A	各 1 回路
客席ブースコネクタ盤 (前/後)	CEE Form 100V 30A	2 回路
	※共通回路 平行 15A	2 回路

※CEE Form→C 型コネクタ 変換ケーブルの用意があります。予め劇場技術者にご相談ください。

## 8. 映像設備

データプロジェクタ (共用)

## 9. 舞台連絡設備 (舞台監督卓で操作可能)

- (1) デジタルインターカムシステム Green-GO (有線/無線)
- (2) キューランプシステム Green-GO
- (3) 楽屋呼出
- (4) ベル・アナウンス
- (5) トークバックシステム

## 10. 備品・その他設備

- (1) ピアノの使用と調律 ( ※「コンサートグランドピアノの使用について」 参照 )
- (2) 難聴者用 FM 補聴システム
- (3) 次の設営・撤去作業は、劇場スタッフが施設利用時間内に行います。

備品	作業時間
映画スクリーン式 (400 インチ)	30 分
組立式スクリーン (137 インチ) (248 インチ)	
竹羽目	30 分

※作業時間は設営・撤去それぞれに必要な時間となります。

## 11. 客席【2,027 席 (1 階席、2 階席、LR 席 車椅子席 5 席含む)】

- (1) 可動席 ( ※平面図 参照 )

- a 次の客席は2席または3席単位で取り外すことができます。

1列目～16列目	すべて (193席)
7列目	5番～7番 / 46番～48番
8列目	4番～6番 / 47番～49番
9列目	3番～5番 / 48番～50番
10列目	2番～4番 / 49番～51番
11列目～12列目	1番～3番 / 50番～52番
20列目	すべて (19席)
32列目	すべて (20席)

- b 可動席の撤去・原状復帰は、主催者と劇場スタッフとで施設利用時間内に行います。

(2) 客席階段・張り出し舞台

上演中に客席階段を設置もしくは舞台の一部を客席に拡張して設営する場合は、お客様の着座の有無に関わらず避難通路確保のため**通路幅を1m以上確保し客席を撤去する必要があります。**予めご相談ください。

(3) 仮設スピーカ設置及び仮設スピーカ昇降装置の利用時

仮設スピーカ設置時は必ず客席への転倒防止処置を行ってください。また劇場の**仮設スピーカ昇降装置をご利用される場合は直下の客席（3列目9番～11番と42番～44番）は利用不可ですのでチケット販売等できません。**

(4) フロントサイドライトの利用時

**直下のバルコニー客席（1R-1番～6番と1L-1番～6番）は利用不可ですのでチケット販売等できません。**

(5) 客席オペレート（※平面図・客席オペレート利用規定 参照）

- a 客席の背倒れ可能な下記部分を基本設置場所としています。客席中央を希望する場合は20列目中央を、後列に設置希望の場合は32列目中央を全て撤去しますので、ご注意ください。

- b オペレーターは原則として常設の客席以外の椅子を使用してください。

1階席 18列目	21番～31番
19列目	21番～32番
20列目	17番～35番を全撤去
1階席 30列目	21番～31番
31列目	21番～32番
32列目	17番～35番を全撤去

- c 専用台や養生マットを用意していますので、客席や床が損傷しないよう設営・撤去してください。

- d 設置作業の動線に当たる客席についても養生が必要です。作業が完了するまでは撤去しないでください。

(6) オペレートエリア・利用不可席・販売許可申請書

**上記の(3)・(4)・(5)の対象エリアとなる客席については使用の有無を問わず、事前の販売許可申請書の提出が必須ですので、必ず事前申請を行ってください。申請していただかない場合、対象エリアの販売はできませんのでご注意ください。**

(7) ビデオ・写真撮影

三脚が通路や階段にかからないように、客席内にスペースを確保してください。三脚用の養生も用意がありますので技術スタッフに申し出ください。

## 12. 多目的室

技術側で利用を希望する場合は予め劇場技術者にご相談ください。

【他ホールを含めた共通確認事項について】

### 13. 上演中の諸行為による諸官庁への届出

#### (1) 喫煙・裸火の使用・危険物品の持ち込み（消防署への許可申請）

- a 高崎市・安中市消防組合火災予防条例に基づき、予め消防署に「禁止行為の解除承認申請書」を提出し、承認を受けてください。承認後、当日までに許可証の写しを劇場スタッフまでご提出ください。
- b 「禁止行為の解除承認申請書」は、高崎市等広域消防局ホームページからダウンロードできます。  
高崎市等広域消防局ホームページ  
<http://ted.city.takasaki.gunma.jp/shoubou/contact6.html>

#### c 申請先

高崎東消防署 〒370-0852 高崎市中居町 2-21-63 電話 027-352-2900

#### (2) 避難口誘導灯および客席誘導灯の消灯（劇場への許可申請）

「ホール誘導灯消灯手続きのご案内」を確認し、予め「誘導灯消灯申請書」および「避難誘導要員計画書」を提出してください。

### 14. 入館・セキュリティ

#### (1) 主催者側で作成したバックステージパスの見本と入館者名簿を事前に提出してください。

バックステージパスは予め入館者に配布しておいてください。

#### (2) セキュリティの都合上、開場から終演までのあいだ電気錠により施錠される箇所があります。

通行に必要なカードキーは当日の入館時に劇場サービス課担当者から貸し出しいたします。

#### (3) ホール内へ入ることができるのは申請された利用区分の開始時間となります。

車両搬入については開始時間の 10 分程度早めに搬入ヤード等の入庫を受け入れています。

また入出庫以外には閉鎖となりますのでご注意ください。

#### ●搬入ヤード（11tトラック 5 台同時搬入可能）

シャッター高 H3,950mm

プラットフォーム高 H 850mm

搬入扉（両開き）W3,000mm×H3,000mm

#### ●サブ搬入ヤード

開口高 H5,000mm

プラットフォーム高 H 920mm

搬入扉（両開き）W3,000mm×H4,000mm

※搬入車両の大きさについては事前に劇場スタッフまで、ご相談ください。

#### ●搬入用エレベーター（最大積載荷重 5600kg）

幅 2,500mm × 高さ 2,950mm × 奥行 4,000mm

### 15. 安全対策

#### (1) 仕込み〜タツバ決めまで及び高所作業時、撤去作業時はヘルメットを装着してください。

#### (2) 高所作業時はヘルメット着用に加えてフルハーネス型墜落制止用器具等を装着してください。

#### (3) 個人用保護具は持ち込んでください。

#### (4) 足場の組立て等の作業は、足場の組立て等作業主任者技能講習の修了者が指揮・監督し、足場の組立て等作業従事者特別教育を受講した作業員が行ってください。

#### (5) スノコ・H 鋼の梁への仮設吊り作業は玉掛技能講習修了者が作業を行ってください。

#### (6) レーザー機器の使用に当たってはレーザー安全講習の修了者が「レーザー機器管理者」となり作業を行ってください。

### 16. 舞台スタッフ

#### (1) 舞台・照明・音響等の技術スタッフ、搬出入・設営撤去・転換に必要な人員は主催者側で手配してください。

※技術スタッフの手配や技術的な対応を希望される場合は、早めにご相談ください。

(2) 貸出時間外のご利用には追加料金等が発生する場合がございます。最低 2 ヶ月前までには劇場へご相談ください。

17. 飲食

舞台・客席では演出以外の飲食はできません。

18. ゴミ

発生したゴミは持ち帰るか、業者を手配し施設利用時間内に引き取るようにしてください。

劇場での有料引き取りサービスはございません。ご希望の場合は処分業者を紹介可能です。

劇場サービス課担当者にお尋ねください。

19. 非常時対応

予め「非常時の対応ならびに事故等の予防について」を確認してください。

お問い合わせ

高崎芸術劇場 舞台技術課

〒370-0841 群馬県高崎市栄町9番1号

電話：027-321-7303（直通）

FAX：027-321-7300（代表）

FAX：027-321-7305

メール：舞台 gekijo\_stage@takasaki-foundation.or.jp

メール：照明 gekijo\_lighting@takasaki-foundation.or.jp

メール：音響 gekijo\_sound@takasaki-foundation.or.jp